

平成 29 年度応急仮設住宅建設模擬訓練を実施しました

愛知県では、10月3日（火）、西尾市役所において、平成29年度応急仮設住宅建設模擬訓練を実施しました。この訓練は、来るべき巨大災害に備えて、平成17年度より毎年実施しており、今回で13回目となります。

当日は県職員、市町村職員、建設協力団体等が参加し、応急仮設住宅建設・管理マニュアルに沿って、計画・建設プロセスを確認しました。訓練では、東海・東南海・南海3連動地震が発生し、全市町村に災害救助法が適用されたと想定し、応急仮設住宅の建設戸数の決定、協力団体への建設の要請、建設候補地の状況調査等のシミュレーションを行いました。また、甚大な被害により建設候補地が不足したと想定し、近隣市町村間での調整訓練を行いました。

さらに、一般社団法人プレハブ建築協会のご協力により、応急仮設住宅モデルハウスの見学を行いました。なお、このモデルハウスは、訓練の前日から一般公開し、市役所への来訪者の方にもご覧いただきました。

参加した市町村職員へのアンケートでは、「全体の流れを把握できた」「実践形式で分かりやすかった」等の感想が多く、本県の災害対応力の向上に資する有意義な訓練となりました。

訓練概要

日 時：平成29年10月3日（火）13：30から17：00まで
場 所：西尾市役所 5階 51会議室
主 催：愛知県建設部建築局公営住宅課
参 加 者：県内43市町村、（一社）プレハブ建築協会
（一社）日本ツーバイフォー建築協会東海支部、（一社）全国木造建設事業協会
オブザーバー：国土交通省中部地方整備局



模擬訓練の様子



モデルハウスの展示